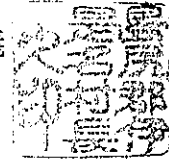




伊 建 環 第 449 号
平成20年11月20日

国土交通省道路局長 殿

伊是名村長 前田 政義



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のあった、みだしのことについて、別添のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

沖縄県伊是名村

道路整備については、国内及び諸外国の道路事情や道路環境を調査することに道路整備の質的向上が図られるのではないかと思います。

また、県内における道路整備に当たっては他府県とは異なった整備のあり方も必要ではないかと思う。都市部、過疎地域(離島地域含む)同一的な考え方での整備ではなく、その地域にあった整備のあり方も必要ではないでしょうか。

さらに、沖縄県は王朝時代から諸外国との交易を通じて多くの文化や技術を吸収し、それを活かした国づくりで発展してきたと言われています。また、戦後30年間もの米国との付き合いの中で、外国流のインフラ整備も経験しており、とりわけ道路整備に当たってはその経験を活かした整備のあり方も必要でないかと思います。

このためには、沖縄県独自の道路整備指針を策定し、沖縄らしさのある道路整備で、沖縄県の道路網の整備を促進してはいかがでしょうか。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

沖縄県伊是名村

○現状

道路全体の整備状況は、改良率60.5%、舗装率(簡易舗装含む)68%と県平均を上回り、また、類似団体と比較しても高い整備率であります。

○課題

幹線1・2級路線のほとんどが、復帰直後の昭和53年から昭和63年代に整備された道路で、すでに25年余が過ぎ老朽化が激しく、しかも簡易舗装であるため路面の破損や亀裂が激しく再整備を迫られています。

本村における道路整備は「人にやさしく、自然にやさしく、美しさと快適性を備えたゆとりのあるみちづくり」を基本方針にこれまで計画的に進めてきています。そのため、老朽化した路線については、未整備路線と併せて、自然（景観、文化、環境）に配慮し、且つ住民生活や地域振興の基礎になる整備を計画的に進めて行きたい。